



みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第1号 平成27年4月16日発行

三和地域の人口・世帯数
男 1,778人
女 1,862人
合計 3,640人
世帯数 1,496世帯
(平成27年3月末 現在)

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

三和地域協議会の 設立経過

- 平成25年10月15日
第1回みわまちづくり会議開催
(以降第10回まで開催)
- 12月19日
まちづくり講演会開催(三和荘)
- 平成26年3月17日
三和町自治会長会に説明
- 3月23日
まちづくり講演会及び報告会開催
- 4月11日
第11回みわまちづくり会議開催
(以降第16回まで開催)
- 5月14日
三和町自治会長会意見交換会
- 7月8日
各団体説明会開催
- 8月29日
講演会及び住民説明会開催
- 9月17日
第17回みわまちづくり会議開催
(以降第21回まで開催)
- 10月27日
第1回地域協議会設立準備会開催
(以降第8回まで開催)
- 平成27年2月23日
朝来市視察研修
- 3月28日
三和地域協議会設立総会

3つの事業部会 部会員を募集します

地域協議会では、3つの部会（裏面に詳細）で、これからのまちづくりに積極的に参加したいという方を募集しています。特に資格や制限はありませんが、三和地域に関わりがあって意欲のある人なら、誰でも大歓迎です。原則として無報酬ですが、交通費を支給する予定です。

連絡・申し込みは、

三和地域協議会事務局

TEL 0773-58-4130

この会の副会長なんて大きなお役をいただく羽目になってしまった。どないしようの心持だ。皆さま、どうかよろしくお導きくださいませ。

一年半の検討期間を経て、自治会長をはじめとする地域住民皆様のお力をいただき、「三和地域協議会」は四月一日にスタートを切ることが出来ました。元々は福知山市における市民協働のあり方を検討する「市民協働推進会議」で、これからの住民自治のあり方について議論が積み重ねられてきた経過があります。これを受けて平成二十五年十月に発足した「みわまちづくり会議」、翌年十月発足の「三和地域協議会設立準備会」の熱心な議論を経て、住民が主体となる自治の仕組みが産声を上げることになりました。三和町が福知山市に合併し、十年を経過しようとしています。



三和地域協議会 会長 大槻 昭則

「いあいっちゃん」



4月6日の事務所開き 大槻会長と澤田副会長

す。皆様にとって現在の福知山市は満足のいくまちとなっているのでしょうか？行政の皆さんは精一杯の努力をいただいていることは承知していますが、三和町時代のように、不満や疑問があれば「ちよつと役場へ」のイメージは薄れているのではないのでしょうか？

今後とも、お力添えをよろしく願います。

三和地域協議会には、「地域活力」「生活基盤」「定住促進・情報発信」の三つの部会を設けました。様々なイベントに携わる方々と共に地域の活性化について考えたり、過疎化による空き家の情報をキャッチし有効活用を図ることで、老人世帯等の買い物難民対策、市バス等の効率的運用を提案実行することなどに取り組みたいと考えています。

のようすべてを行政や他人に押し付けて、解決出来る問題は今は皆無とっていいでしょう。これからは、自分はどうありたい、このサークルはこのようになりたい、そのためにこんなことをしたい等々、ご自分の、皆様の、グループや団体の目的や方針をお伝え頂くことで、新たな提案や共同作業、広報宣伝が可能と考えています。まだまだ何をするとするか、なんでそんなものがよいか、ご理解いただけたいない方がたくさんいらっしゃることを存じます。

「地方消滅」に負けない

—みんなの底力でまちづくりを—

三月初め「二〇四〇年、地方消滅」『極点社会』が到来する」というショッキングな講演会が福知山市内でありました。講演した増田寛也日本創生会議座長（元岩手県知事、総務大臣）によると、地方消滅の大きな理由は、①二〇三九歳の若年女性の減少 ②大都市圏への若者の集中が原因で、二十五年後の二〇四〇年には約五〇％に当たる八百九十六市区町村が消滅する可能性があるというのです。日本の人口は、二〇〇八年の一億二八〇八万人を頂点に減少し始めており、それが二〇五〇年には九七〇八万人にまで落ち込むとの推計結果も示されました。

幸い、私たちが暮らす福知山市は増田座長が示された「消滅可能性都市」には入っていません。しかし、三和町域に限ると人口は減少の一途をたどり、少子高齢化も進むと進んでいます。将来を展望したとき、「この先どうなるのやら」などと、ご心配の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。でも、財政難の今の国や市町村に頼るだけでは、効率の悪い田舎は取り残されてしまう心配もあります。

そこで、三和町に住まう皆さん方や各種団体の方々が経験や能力、知識、技能などを持ち寄って手をつなぎ、行政とも協働して私たちが住み暮らしている古里をもっと住みよい、活力ある豊かな町へと盛り立てていこう、というのが三和地域協議会です。

自分たちが住み、生きている地域のことを自ら考え、行動を起こすため、地域の実態などをよくご存知の皆さん方に参加していただきたいのです。三和地域協議会に設けた地域活力、生活基盤、定住促進・情報発信の三部会のうち、ここぞと思われる部会へどうぞ、ご参加下さい。お待ちしております。



副会長 仲野恵子

「いあいっちゃん」

高齢の母が三和町中出でひとり暮らしをしていた。夫が退職後生活の落ちついた頃、母との同居を申し出てくれた。三和での生活も五年が過ぎた。

私は相変わらず旧市内中心の仕事でバタバタ走り回り、三和育ちといえども浦島太郎状態だ。ただ、第三土曜日の午後だけは、必ず我が家で、みかんの木文庫を開いている。子どもの本中心の小さな図書室で子どもたちに絵本を読んでいる。つもりだった。

旧市内に住んでいる頃は小さな家庭文庫に子どもたちがたくさんやってきた。けれど、三和では子どもが来ない、子どもがいない？三和でのお客は、庭を歩くキジとウリボウとタヌキ。

この現状はどうなっている？と、三和荘での「まちづくり」講演会などを時々ぞいていた。

三和地域協議会の概要

(敬称略)

総 会	
三和地域内自治会代表 三和地域内各種団体代表 常任委員会委員	

監査委員	
岡村 清	水谷 由紀
(三和支所副支所長)	

常任委員会	
事務局・連絡先 TEL 0773-58-4130 FAX 0773-58-4180 Email: miwa.r.c-info@grace.ocn.ne.jp	

会 長	大槻 昭則
副会長	山口 一郎
副会長	仲野 恵子
副会長	樋口 正明
(三和町自治会長会会長)	

協議会全体事業	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 三和町自治会長会事務局 ○ 観光協会三和支部事務局 ○ 特産品活用事業事務局 ○ みわまちづくり計画の策定 ○ 市役所三和支所からの受任事業 	

定住促進・ 情報発信部会	
主な活動分野	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 若者定住・交流促進 ○ 新規定住者支援・ネットワーク形成 ○ 空き家情報発掘・紹介など ○ 情報発信、広報活動 	
部会長	和田 憲幸
副部会長	澤田さやか
部会員を公募、選任	

生活基盤部会	
主な活動分野	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域交通のありかた検討 ○ 住民生活基盤の維持、改善 ○ 地域福祉の増進 ○ 地域自治機能の維持継続など 	
部会長	後藤 定司
副部会長	大崎 直樹
部会員を公募、選任	


地域活力部会	
主な活動分野	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域を元気にする事業 ○ 遊休施設の活用検討 ○ 地域内諸活動の支援 ○ 地域内住民活動のネットワーク形成 	
部会長	松下 正美
副部会長	藤田まどか
部会員を公募、選任	

事務局次長	塩見 由美
-------	-------

事務局長	岡部 成幸
------	-------

(事務局)	喜多 友香
-------	-------


※ 4月6日の常任委員会において、総会選任役員の一部を改選・補充しました。



定住促進・情報発信部会

部会長 和田 憲幸(辻)

「一極集中」の東京で昨今、田舎暮らしを希望する若者が増えていると聞きます。物価高や心身を潤す自然の少なさ、乾いた人間関係になじめず、背を向け始めています。一方、三和町では人口減少が続き、高齢化率は高くなるばかり。空き家や耕作放棄地も増えていきます。しかし、都市部に比べ自然は豊かで空気も水もよい。約九〇分で京阪神へ行ける交通至便さも備えています。こうした利点をPRして都会の若者らに定住を呼びかけ、にぎわいと活力を取り戻したい。皆さんのご協力を得ながら、定住希望者の受け入れ態勢づくりを急ぎつつ、インターネット等を通じて古里情報を発信していきたいと思っています。



生活基盤部会

部会長 後藤 定司(菟原下)

いかめしい名前前の部会ですが、私たちの生活に少しでも役に立ち、彩りが添えられるような組織になればと考えています。主に老人会やPTA、子ども会、消防団、民生児童委員さんらと連携して、地域福祉や健康、交通、防犯、防災などをテーマに、みんなが暮らし続けたいと思える地域づくりを目指します。当面の取り組みは地域交通の在り方です。町内を走る市バス、JRバスはほとんどがガラガラ状態ですが、一方で、車が運転できず外出や買い物に不自由なお年寄りが増えています。利用しやすいシステム作りを考えます。また、高齢者に大型店などの買い物を楽しんでもらう「買い物バス」の運行についても検討します。他にも取り組むべき課題は多く、どうか皆さんの力をお貸しください。



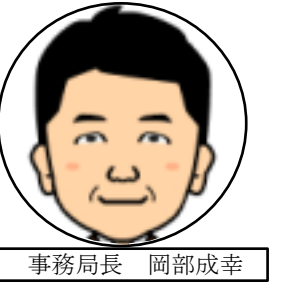
地域活力部会

部会長 松下 正美(台頭)

地域活力部会長の台頭の松下です。スタートを切りまず地域活力部会について説明いたします。この部会が目指すものは、豊かに繋がりたい、豊かな生活を楽しむまちを協議会が軸となり実現することです。非常に難しい表現だとは思いますが、三和地域の抱える課題を嘆くよりも、一つの取り組みを地域や組織が繋がりたい、やり遂げる。例えば、恒例のみわふれあいフェスティバルです。これまで役場や支所に任せたり方々で実施されてきましたが、これからは協議会、すなわち地域や団体が繋がりたい、地域の皆さんが「よかつた」といえるイベントにすることです。そのためには、多くの皆さんがこの協議会に関心を持ち常駐する事務局員に気軽に声をかけていただくことから始まります。今年度の三和中学校生徒会の目標も「繋」です。

三和地域協議会から第1号のお知らせを、皆さんにお届けすることができました。4月1日の発足以来、事務局の整備と挨拶まわりなどに、明け暮れています。その間にも事務所を覗いていただく方も多く、地域の皆さんの期待をひしひしと感じます。まだまだ「何をやるのか、何の役に立つのか」との見方が大半だと思いますが、一歩一歩前進していきたいと、決意しているところです。事務局は、三和支所横の「農業振興センター」にあります。ぜひお立ち寄りください。

編集後記



協議会事務局に
来てくださーい！